



こんにちは  
横浜市議員

日本共産党  
週刊ニュース

宇佐美 さやか

2016年 1月27日号  
日本共産党神奈川県事務所

横浜市神奈川区西神奈川3-2-17  
電話：491-6843、FAX：491-6892  
[http://www.usami-sayaka.jp//](http://www.usami-sayaka.jp/)

ごみ屋敷条例、中学校給食に関して京都市・大阪市を視察

## 京都市：当事者に寄りそってごみ屋敷解決に尽力

自宅の敷地内に大量のごみなどをためこむ、いわゆる「ごみ屋敷」では、悪臭や害虫の発生、通行障害、ごみの崩落による危険性などが問題になっています。一方、その当事者は、認知症や精神障害、高齢、一人暮らしなどで、ごみを片付けることが出来ない場合がほとんどです。

横浜市では、今年中にごみ屋敷条例を制定し、解決に当たる予定です。そこで、先行して取り組みを行っている京都市と大阪市を視察しました。

京都市では2014年11月にごみ屋敷解決の対策条例を制定。保健福祉局保健福祉総務課に専任の事務職2名と保健師5名を配置し、区役所とともに解決に取り組んでいます。解決にあたっては、ごみ屋敷状態の解決とともに、再びその状態にならないよう当事者が抱える生活上の諸問題を解決するために、当事者に寄りそった支援に重点を置いているということでした。

昨年11月に全国で始めて実施した行政代執行の対象者は50歳代の男性で、担当職員が126回訪問し61回会って片付けるよう働きかけましたが、解決に至りませんでした。自宅前通路にごみが



京都市保健福祉局保健福祉総務課の担当係長(手前)から聞き取りを行う日本共産党横浜市議団＝1月20日京都市役所

はみ出し、車椅子が通行できない状態で、ベランダの物が落下する危険性がありました。

大阪市では2014年3月にごみ屋敷解決のための条例を制定。ごみ屋敷の苦情などが寄せられると、区の担当職員と環境局と福祉局が連携して対策会議を開き、役割分担や進め方を確認して、解決に向けて取り組みを始めます。2015年度は1085万円の予算を確保し、審議会の開催や現地の臭気測定、ごみ撤去時の消耗品代、精神科医の派遣などの費用にあてているということでした。

## 大阪市：みんなで食べると美味しい中学校給食

大阪市では、2012年度から段階的に業者弁当による選択制の中学校給食をはじめ、2014年度から段階的に全員喫食に移行し、今年4月からは全校全員で全員喫食になる予定です。

試食した給食。ご飯、糸より(白身魚)の磯辺揚げ、豚じゃが、風呂吹き大根、ほうれん草と白菜のおひたし、雑煮、牛乳



1月21日に大淀中学校を訪問し、給食を試食し、配食や給食風景を見学しました。

1食300円です。学校給食法に基づいた給食なので、生活保護世帯の生徒は無料ですが、子ども施策全体のバランスを取るためとして就学援助の生徒は半額負担です。

トラックで運ばれるため子どもには「(おかずが)冷たい」「まずい」と評判が悪く、日本共産党大阪市議団は学校調理方式を求めています。吉村大阪市長は、4年以内に学校調理方式に変更すると、所信表明演説で述べたということですので、今後の進展が注目されます。